



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7762 URL https://www.citizen.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報IR室担当 (氏名) 古川 敏之 TEL 042-468-4934
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	69,916	△6.2	1,815	△59.9	2,018	△66.1	910	△76.8
2019年3月期第1四半期	74,505	2.5	4,525	18.5	5,948	30.8	3,923	47.9

（注）包括利益 2020年3月期第1四半期 △2,851百万円（-％） 2019年3月期第1四半期 4,809百万円（△21.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.87	—
2019年3月期第1四半期	12.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	408,336	260,347	61.3	793.42
2019年3月期	413,911	267,547	62.2	808.87

（参考）自己資本 2020年3月期第1四半期 250,430百万円 2019年3月期 257,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	146,300	△5.3	7,200	△34.3	7,500	△42.9	5,000	△40.3	15.84
通期	305,000	△5.2	16,000	△28.6	18,000	△32.3	11,500	△14.0	36.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	320,353,809株	2019年3月期	320,353,809株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,719,441株	2019年3月期	2,070,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	317,643,589株	2019年3月期1Q	318,285,067株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、海外諸国において高まる政治リスクや見通しづらい経済動向等、先行きの不透明感が強まる状況で推移しました。また、米国経済は引き続き各国との貿易を巡る動きが注視されており、設備投資に鈍化の兆しが見られました。一方、欧州経済については、通商上の不安定さや政治の不確実性の高まりから、減速傾向が続きました。アジア経済は、中国の経済成長に陰りが見られる中、その他のアジア地域も勢いを欠く展開となりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、主力事業である時計事業及び工作機械事業の落ち込み等により、売上高は699億円（前年同期比6.2%減）と減収、営業利益は18億円（前年同期比59.9%減）と減益となりました。また、経常利益は20億円（前年同期比66.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益についても9億円（前年同期比76.8%減）と、それぞれ減益となりました。

(時計事業)

ウォッチ販売の内、“CITIZEN”ブランドの国内市場は、「The CITIZEN」、「Eco-Drive One」などの高価格品が好調に推移したほか、中価格品も「xC」、「PROMASTER」などが堅調に販売を伸ばしました。また、ラグビー日本代表モデル発売記念イベントも奏功し、全体で売上を伸ばし、増収となりました。

海外市場の内、北米市場は、主力の中価格帯市場においてメンズ、レディースともに健闘したものの、実店舗流通の縮小等の影響を補うには至らず、また、欧州市場においても、引き続き政治不安の高まりから個人消費が伸び悩み等、苦戦を強いられ、それぞれ減収となりました。アジア市場は、香港やタイなど堅調さを保つ地域も見られたものの、中国経済の先行きに対する不透明感から販売が伸び悩み、減収となりました。

マルチブランドについては、“BULOVA”ブランドはデパートやジュエリーチェーンの不振や実店舗の再編等による落ち込みを、伸長するインターネット流通等で補いきれず、減収となりました。

ムーブメント販売は、依然として市場の回復に力強さを欠く厳しい環境が続き、高付加価値商品の需要が伸び悩み等、減収となりました。

以上の結果、時計事業全体では、新製品の積極的な投入や広告宣伝投資の加速による販売拡大を図りましたが海外市場を中心に低迷し、また、ムーブメント販売も伸び悩んだことから、売上高は335億円（前年同期比6.5%減）と、減収となりました。営業利益においては、重点施策の一つである高価格帯製品が売上を伸ばしましたが、ムーブメント販売の不振等による影響が大きく、6億円（前年同期比71.6%減）と、減益となりました。

(工作機械事業)

国内市場は、半導体関連が軟調だったほか、自動車関連が中国を中心とした需要減少の影響を受けたことにより、減収となりました。

海外市場においても、米中貿易摩擦の影響等による先行き懸念が増す中、設備投資を先送りする動きが強まっており、欧州市場は減収となりました。米州市場は比較的安定的な需要の見込める医療関連等に注力したことにより底堅さを保ち、アジア市場は中国では医療関連が堅調に推移したものの、アセアンを中心とした地域で市況が低迷し、横ばいとなりました。

以上の結果、工作機械事業全体では、国内外で設備投資に対する慎重な姿勢が強まっており、当社グループの独自技術であるL F V（低周波振動切削）搭載機の販売を推し進めましたが、好調であった前年同期からの反動もあり、売上高は157億円（前年同期比7.8%減）、営業利益においては、26億円（前年同期比17.8%減）と、減収減益となりました。

(デバイス事業)

精密加工部品の内、スイッチが新機種への採用等により売上を伸ばしたものの、自動車部品が、中国や欧州市場における新車販売台数の減少を受け低調な推移となり、精密加工部品全体で減収となりました。

オプトデバイスの内、チップLEDは、照明向けは激しい価格競争を強いられる中、価格を追随せず収益性を重視した取組みに注力したほか、バックライトユニットの売上減を受け、オプトデバイス全体で減収となりました。

その他部品の内、水晶デバイスはスマートフォン市場の伸び悩み等により低迷したほか、強誘電性液晶マイクロディスプレイもデジタルカメラ市場の縮小の影響を受け、落ち込みました。

以上の結果、デバイス事業全体では、主にオプトデバイスを中心とした売上減の影響により、売上高は145億円（前年同期比6.6%減）と、減収となりました。営業利益においては、収益を重視した販売戦略に注力したものの売上減の影響が大きく、3億円（前年同期比51.1%減）と、減益となりました。

(電子機器事業)

情報機器は、POSプリンター及びバーコードプリンターが売上を落としたものの、フォトプリンターがメディア及び本体ともに好調に推移し全体を牽引したことで、情報機器全体では増収となりました。

健康機器は、国内市場が低調に推移したほか、海外市場も南米向け等が苦戦し、減収となりました。

以上の結果、電子機器事業全体では、フォトプリンターが好調に推移したものの、健康機器の苦戦が響き、売上高は45億円（前年同期比0.9%減）、営業損失は0億円（前年同期は0億円の営業損失）と、減収減益となりました。

（その他の事業）

宝飾製品は、ブライダル販売の強化により主力のマリッジリングが伸長したほか、展示会販売や卸販売も堅調に推移し、増収となりました。

以上の結果、その他の事業全体では、主に宝飾製品の回復により、売上高は15億円（前年同期比9.8%増）、営業利益においては、1億円（前年同期比218.5%増）と、増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ55億円減少し、4,083億円となりました。資産の内、流動資産は、たな卸資産が53億円増加した一方で、受取手形及び売掛金が71億円、現金及び預金が58億円減少したこと等により、62億円の減少となりました。固定資産につきましては、機械装置及び運搬具が18億円、工具、器具及び備品が4億円、建物及び構築物が4億円増加した一方で、建設仮勘定が21億円減少したこと等により、6億円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、賞与引当金が30億円、支払手形及び買掛金が10億円増加した一方で、電子記録債務が13億円、未払法人税等が9億円減少したこと等により16億円増加し、1,479億円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、為替換算調整勘定が29億円、利益剰余金が19億円減少し、自己株式取得により自己株式が13億円増加したこと等により72億円減少し、2,603億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期（累計）及び通期連結業績予想につきましては、為替が想定以上に円高に推移していることに加え、主に時計事業と工作機械事業における市況環境の悪化を受け、前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたしました。なお、第2四半期以降の為替レートにつきましては、1US\$=105円、1EUR=120円を想定しております。

2020年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 152,000	百万円 9,000	百万円 10,000	百万円 7,000	円 銭 21.99
今回修正予想（B）	146,300	7,200	7,500	5,000	15.84
増減額（B-A）	△5,700	△1,800	△2,500	△2,000	-
増減率（%）	△3.8	△20.0	△25.0	△28.6	-
（ご参考） 前第2四半期累計期間実績	154,406	10,959	13,133	8,375	26.32

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 318,000	百万円 20,000	百万円 22,000	百万円 14,500	円 銭 45.56
今回修正予想（B）	305,000	16,000	18,000	11,500	36.44
増減額（B-A）	△13,000	△4,000	△4,000	△3,000	-
増減率（%）	△4.1	△20.0	△18.2	△20.7	-
（ご参考） 前期実績（2019年3月期）	321,652	22,411	26,602	13,369	42.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,875	80,982
受取手形及び売掛金	64,139	57,000
電子記録債権	1,225	1,028
商品及び製品	55,614	58,448
仕掛品	22,982	23,841
原材料及び貯蔵品	19,605	21,236
未収消費税等	3,131	1,447
その他	6,522	9,634
貸倒引当金	△1,111	△843
流動資産合計	258,985	252,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,496	42,957
機械装置及び運搬具(純額)	22,685	24,499
工具、器具及び備品(純額)	7,364	7,833
土地	10,326	10,346
リース資産(純額)	1,360	1,647
建設仮勘定	5,437	3,313
有形固定資産合計	89,669	90,597
無形固定資産		
ソフトウェア	4,402	4,373
リース資産	7	6
その他	4,323	4,074
無形固定資産合計	8,732	8,455
投資その他の資産		
投資有価証券	39,974	39,047
長期貸付金	942	993
繰延税金資産	11,847	12,772
その他	4,050	3,982
貸倒引当金	△268	△266
投資損失引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	56,524	56,507
固定資産合計	154,926	155,560
資産合計	413,911	408,336

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,496	21,562
電子記録債務	14,896	13,590
設備関係支払手形	246	392
営業外電子記録債務	859	1,111
短期借入金	13,987	14,625
未払法人税等	2,139	1,182
未払費用	13,395	12,730
賞与引当金	5,712	8,762
役員賞与引当金	247	—
製品保証引当金	1,428	1,273
環境対策引当金	0	—
事業再編整理損失引当金	484	477
その他	7,846	7,929
流動負債合計	81,741	83,638
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	27,077	26,580
繰延税金負債	791	635
事業再編整理損失引当金	816	816
退職給付に係る負債	23,328	23,448
資産除去債務	74	74
その他	2,534	2,795
固定負債合計	64,622	64,351
負債合計	146,363	147,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	34,019	34,019
利益剰余金	181,995	180,085
自己株式	△1,773	△3,150
株主資本合計	246,889	243,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,111	7,339
為替換算調整勘定	3,303	328
退職給付に係る調整累計額	△855	△841
その他の包括利益累計額合計	10,559	6,826
非支配株主持分	10,098	9,917
純資産合計	267,547	260,347
負債純資産合計	413,911	408,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	74,505	69,916
売上原価	45,530	43,682
売上総利益	28,975	26,233
販売費及び一般管理費	24,449	24,417
営業利益	4,525	1,815
営業外収益		
受取利息	109	118
受取配当金	513	406
持分法による投資利益	271	321
為替差益	502	—
その他	162	246
営業外収益合計	1,560	1,093
営業外費用		
支払利息	78	120
為替差損	—	650
その他	59	120
営業外費用合計	137	890
経常利益	5,948	2,018
特別利益		
固定資産売却益	6	22
その他	0	10
特別利益合計	7	32
特別損失		
固定資産除却損	47	105
固定資産売却損	0	1
事業再編整理損	45	203
投資有価証券評価損	—	0
コンプライアンス特別対策費等	75	—
その他	80	46
特別損失合計	249	358
税金等調整前四半期純利益	5,705	1,692
法人税等	1,653	733
四半期純利益	4,052	959
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,923	910

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	4,052	959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	△772
為替換算調整勘定	1,031	△2,953
退職給付に係る調整額	33	14
持分法適用会社に対する持分相当額	111	△100
その他の包括利益合計	757	△3,811
四半期包括利益	4,809	△2,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,657	△2,822
非支配株主に係る四半期包括利益	151	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,647,800株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,375百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,150百万円となっております。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号（リース）を適用しており、借手の会計処理として原則すべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器事業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	35,838	17,115	15,575	4,583	1,393	74,505	—	74,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	391	520	25	232	1,194	△1,194	—
計	35,863	17,506	16,095	4,609	1,625	75,700	△1,194	74,505
セグメント利益又は損失(△)	2,396	3,193	700	△42	38	6,286	△1,760	4,525

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△1,760百万円には、セグメント間取引消去△73百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,687百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	電子機器事業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	33,522	15,772	14,549	4,542	1,529	69,916	—	69,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	293	457	16	196	989	△989	—
計	33,547	16,065	15,006	4,558	1,726	70,905	△989	69,916
セグメント利益又は損失(△)	681	2,626	342	△52	123	3,721	△1,905	1,815

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△1,905百万円には、セグメント間取引消去△42百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,862百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。